

小規模文化財・未指定文化財建造物の現状から考える今後の文化財防災

小規模寺社・民家等の文化財建造物の多くは、高齢化・人口減少を背景に防災体制の維持困難が増えています。建築防災をご専門とする長谷見雄二氏をお招きし、文化財防災のコスパも見据え、現在起こっている社会構造の変化に対応した防災の仕組みについて、ご講演頂きます。

2023.11.17 fri. 16:00 - 18:00

会場：富山大学高岡キャンパス 講堂
(富山県高岡市二上町 180)

※オンラインでも同時配信（お申し込み頂いた際に、URL をお送りします）

定員 | 120 名

参加費 | 無料

申込方法 | 氏名・所属・連絡先・現地 or オンライン

を 11/15 (水) までに以下までご連絡ください。

日本建築学会北陸支部 富山支所事務局

富山県建築士事務所協会内 土肥

yoshikazu.doi@toyamajk.org

問い合わせ | 富山大学芸術文化学部藪谷研究室

yabutani@tad.u-toyama.ac.jp

主催 | (一社) 日本建築学会北陸支部富山支所

協賛 | (一財) 富山県建築住宅センター

後援 | (公社) 富山県建築士会 / (一社) 富山県建築士事務所協会

早稲田大学 名誉教授

長谷見 雄二 氏

1951 年東京生まれ。1975 年早稲田大学大学院修士課程修了。同年建設省建築研究所研究員。1987 年建築研究所防火研究室室長。1997 年早稲田大学建築学科教授。2021 年同大学名誉教授。専門分野は建築防災。工博。著書に「木造防災都市」（早稲田大学出版部）、「災害は忘れた所にやってくる」（工学図書）、「火事場のサイエンス—木造は本当に火事に弱い」（井上書院）等。

